

# 仲間・挑戦

## 入学式の式辞（一部抜粋）

山内中学校は多くの方々から挨拶がさわやかで活気のある学校とされています。私もそのように感じ、誇りに思っています。それでは、さわやかで活気のある学校とはどのような学校を言うのでしょうか。

そこには、一生懸命学び、向上しようとする生徒がいる。その生徒のために一緒に頑張る先生がいる、そして、学校の様々な活動に理解や協力をいただく保護者や地域の方々がいっしょに。この三つの力が一つになって前進している姿や様子があることです。

そこで、新入生の皆さんには、入学に当たり、「三つのお願い」をします。

### ○考えて行動できる人になりましょう。

考えて行動できる人とは、独り立ちできる人のことです。中学校は、大人に向けての第一歩を踏み出すところです。自分の中では、外見からは変化がなくても、社会からは半分大人扱いをされます。また、18歳で成人ともなりますね。自ら進んで意欲を持って取り組む姿勢や気持ち大切です。中学校生活には、そのような機会がたくさんあります。先輩を見習いながら努力してみましょう。会場の後ろにいる先輩たちは皆さんの頼りになる存在になるはずですよ。

### ○思いやりのあるやさしい人になりましょう。

思いやりのあるやさしい人とは、相手の立場に立てる人のことです。これからの中学校生活を通して、人と人とのかけわりの大切さに気付いてほしいと思います。人を尊敬する気持ちや大切にすることを、仲良くしようとする気持ちがなければ、本当の自立はありません。

### ○たくましく生きる人になりましょう。

たくましく生きる人とは、自分の心の弱さに負けることなく、努力し続けることができる人のことです。学校生活や家庭生活、社会生活には様々な誘惑があり、ついつい楽な方に、簡単な方に流れやすくなります。しかし、その時限りでしかありません。生きていくうえでの基本になるたくましさは、すぐには身に付きません。自分で自分の心と体を鍛えてください。

今、話したことは、在校生にも言えることです。この三つを実現させるためには、山内中学校の一人一人の生徒が意欲をもって、学級の仲間とともに、考えて行動することができれば、達成することができます。中学校生活では、集団生活を通して、守らなければいけない約束やいろいろな考え方があること、人との接し方や協力し合う知恵、責任の果たし方など、将来にわたって身に付けなければいけない大切なことを学ぶところです。学びながら、大きく自分を変身させていきます。「変身」は、「成長」と言い換えることもできます。進んで多くの体験に取り組んでみてください。知識として物事を知っていても、実際に経験や体験がなければ、身に付いたとは言えません。中学校生活の延長線上に社会があります。一人一人が学校や社会の一員として大きく成長しながら、自覚をつかってほしいと思います。

校長の中尾恵子です。山内中で3年目を迎え、美しい自然と温かい人々に囲まれた山内町での勤務となり、嬉しく思っています。山内中学校のために昨年以上に全力を尽くしますのでよろしくお願ひします。返信欄で保護者の皆様の質問や御意見等を聞かせいただければ幸いです。